

【問 2 3】

人権問題について、県などに対してのご意見やご要望、あなたのお考えなどを自由にお書きください。

寄せられた意見をその記述内容に応じて大きく下表のとおり分類し、それぞれの分野毎に特徴的な意見を掲載しました。

掲載に当たっては、文意を変えない範囲で原文の一部を変更しています。

また、ここに掲載されていない意見につきましても、今後の人権教育・啓発の推進に活かしてまいります。

1. 人権全般に関すること	5 2 件
2. 女性に関すること	8 件
3. 子どもに関すること	1 3 件
4. 高齢者に関すること	5 件
5. 障がい者に関すること	1 6 件
6. 同和問題に関すること	2 5 件
7. 外国人に関すること	1 件
8. インターネットに関すること	2 件
9. 犯罪被害者に関すること	3 件
1 0. 性的マイノリティに関すること	4 件
1 1. その他の問題に関すること	1 8 件
1 2. 教育・啓発に関すること	6 0 件
1 3. 行政施策に関すること	2 2 件
1 4. 意識調査への意見、感想	2 0 件
1 5. その他（1～14に該当しないもの）	2 9 件

1. 人権全般に関すること

・人権問題は、とてもデリケートな問題だと考えています。だれでもこの問題に社会人になってから研修に参加したり、一度は考えたことがあると思います。間違った考えや、人を傷つける事は、絶対にダメだと思うので、皆が住みやすい社会になってほしいと願っています。私も同性愛者に対して、偏見があったので気をつけたいと思いました。

・世の中の差別・偏見の根元は、人々の無関心・無知から生まれるものだと感じています。一人ひとりの人権が保障されて充実した生活が送れるような取り組みを期待しています。

- ・最近の人権に関する出来事も、毎日の様に耳にする機会が増えていて、自分の周りにも、良く会話の中に出て来る様になりました。声を上げる事が難しかった昔にくらべ、随分と話しやすい世の中になっているとは思っていますが、それでもまだ一部の高齢の方に偏見の目で見ている方がいる事は、残念に思います。
- ・私が住んでいる地域はとても田舎で、限られたコミュニティで生活していると、障害者や高齢者に関する人権意識は実感として感じることもあるが、その他の人権に関する意識は、どこか遠い場所で起こっていることとつい感じてしまう。
- ・人権侵害を実際に受けた側の人は、行動を起こす人は少ないと思います。周りの人が声をかけるなど気を付けてあげないと、なかなか解決出来ないと思います。
- ・小学校の授業で、同和問題の事では、子供ながらにかなりのショックを受けたことを覚えています。私達が大人になった時には、『絶対こういう事しない』とか色々考えてたものです。戦争をしてはいけないと思ったのは、やはり、残酷な物語を知っているから(学んだから)だと思います。人権も、そうやって学ぶことがいいのではないのでしょうか。現在では、性同一性障がい・同性愛者の理解を広げることが、大変かもしれませんが、皆様が気持ちよく生活できることを願っています。

2. 女性に関すること

- ・職場では、今だに女性だけが洗い物当番をさせられる。ささいな事だと思うかもしれませんが、毎日のように男女の差を感じており、男女平等にはほど遠いことを痛感している。育休をとる男性職員は、影で「男のくせに育休をとるなんてありえない」といわれている。病気になり、他の人と同じ質の仕事ができないと努力が足りないと言われ、働くことが迷惑なら退職を考えるしかないと思うこともある。残念なことにこのような低レベルの状態が現実です。
- ・仕事の面接等で、先月入籍したばかりだと伝えると、「すぐに子どもが出来ると困る」という理由で渋られ、なかなか仕事に就けないでいる。生きてきて初めて、「女性である」ということを足枷に感じている。
- ・〇〇市は薩摩気質で亭主関白な方が年配の男性に多く、女性もそれに従っている様に見受けられます。男性の前に女が出たら見苦しい！！ 女性も意見が言える地域作りを。

3. 子どもに関すること

- ・私の周囲には、いじめが原因で不登校になっている人がいます。本人はコミュニケーションが苦手で恐らく他の同級生や環境になじめなかったことが原因と思いますが、その他にもいじめには貧困、母子家庭、父子家庭等、様々な要因があります。また、学校や職場等でよくアンケートが実施されていますが、中々うちあけることができず事実を回答できない人もいる可能性が十分にあると考えます。より正確な実態の把握が行なわれるよう願います。
- ・子供の時は、精神面でも成長段階の為、いじめに加担してしまったり、心ない言動を行ってしまう事がどうしてもあると思う。その時に、家庭内で人権に関して、親が教育していけるかが、やはり、最も重要である。
- ・学校でいじめは犯罪だと意識づけすべきと思う。いじめをいじめと表現する事で犯罪であるという意識がなくなる。今や、ただの「いじめ」でかたづけられる段階ではないと思う。
- ・親が未熟のため起こる子供への虐待が多すぎます。地域で取組み、通報などによる早期発見に尽力すべきだと思います。

4. 高齢者に関すること

- ・一人ぐらしの高齢者の生活を考えてほしい。地域で見守りをするようにしたい。

5. 障がいのある人に関すること

- ・なかなか難しい問題ではありますが、誰もが自由に生活できるような環境作りに、取り組んで頂きたいものです。健常者、障害者ともに地域の方々の思いやり協調性が養われる様な教育を充実させて貰いたいものです。
- ・私の職場でも障がいのある方が働いていますが、「言葉がなかなか通じないから」という理由で少し避けてしまう、そういう事も差別なんだと思いながらも、大きく声をあげて手助けしようとしないうち自分も差別をしてるのかと記入しながら思いました。どうしても「他人の目」があると避けてしまう。手助けを差しのべる事ができるような自分にしていきたいです。そして周囲も当たり前のことになるように。
- ・私は、障害者ですが、内臓疾患なので、外見では障害者にみえないけど、職などにつく時、不利な扱いを受けることもあります。

6. 同和問題に関すること

- ・同和問題で差別を受けられた方は、何も悪くないのにひどい仕打ちを受けて子供時代を過ごしていると思うと、心が痛いです。時代の流れと共に改善されていく事を、切に願います。
- ・私は昔、関西に住んでいて、その時に同和問題を身近に触する機会があり、考える場を持つことができました。色々な人権問題がありますが、子供の時から考える機会をあたえることは、とても大切だと思うので、学校での教育は有効だと思います。子供の時からしっかりと、差別しない心を育てていくことが大切だと思います。
- ・「橋のない川」を10代の頃読み、そういう地区もあるんだと知りました。私の住んでいるすぐ近くもそうだと知りましたが、別に誰も偏見を持っていません。
- ・普通に生活している中では同和問題を感じることはない。実態は、あつてはならない人権侵害や差別があるのではないかと推察する。同和問題は真剣に取り組まなければならない。
- ・同和問題は、現在の若者は知らない人が多い、あえてその言葉を出す必要があるのか。

7. 外国人に関すること

- ・障害者、外国人の方など、社会的不利な立場の方たちを身近に感じ、周囲も理解を深めて、全ての方が住みやすい国になってほしいです。

8. インターネットに関すること

- ・スマホを小学生から持つ時代となった。親や大人の目につかないライン等での「いじめや」「いやがらせ」等が心配です。小・中・高でのスマホ人権教育を充実してほしいです。

9. 犯罪被害者に関すること

- ・新しい時代と共に様々な人権問題が出て来ており、正直その事柄を十分に理解するには時間がかかる。殺人などで被害に合われたご家族の方のプライベートより加害者の人権の方が十分すぎる程守られているように思う。
- ・弱者、犯罪被害者の支援拡充と担当者の意識改革が必要である。

10. 性的マイノリティに関すること

- ・新聞でLGBTの特集があり、少し分かりました。どこかで目にしないと分からないけど、目にしたものは頭に残ります。
- ・高齢な人ほど、時代の流れが受け入れられず、LGBTなども「しつけが悪いから…」などと考えている人が多く、そういう人たちの考えを変えることは難しいと思う。
- ・「性の多様性を認めると歯止めが利かなくなる」とか、「生産性がない」とかの発言には納得できない。多様性を尊重できるような意識を一人一人がしっかり持てるような研修、講座、説明会等の啓発が必要。

11. その他の問題に関すること

- ・介護施設において被介護者の人権の尊重は言われるが、人員の少ない中働いている介護職員の人権はあまり尊重されていない。家族もお金を払って施設に入れてるということもあり家族からの要求が強いケースもあり、パワハラを受けるケースもある。
- ・覚えるのが遅い人に対して、あからさまに怒鳴ったり、できない、遅い、など人格を否定するような言葉を吐いているような人がおります。これも一種の差別であり、言われた人は働く事に自信をなくし、会社や社会に居場所がないと感じて退社していく人が多いという事も社会における見えない差別です。できる、できないで人を否定せず、育てていこうという気持ちを社会全体で考えていくことも、差別解消の糸口になるのではないかと思います。
- ・田舎だと、他人の家の事とやかかく勝手に判断し、うわさ話をして、孤立に追い込んだりしてる事が多い。

12. 教育・啓発に関すること

- ・人権学習には以前から出席していますが、家庭、学校、地域、企業で教育を充実させる事が重要と考えます。
- ・人権に関する認識は、家庭や学校生活の中で繰り返し受けてきた人権教育で培われてきたように思います。今後も特に学校において低学年から高学年に至るまで継続的により充実した人権教育が行なわれると良いかと思えます。

- ・人権の問題について深く真剣に考える機会が一般の人には少ないと思う。学校職員として毎年、年に数回研修を受けているが、他の職業の人たちはそういう機会が少なく、正しい情報なども知らないまま年を重ねている。そこをどうやって改善していくか考えてほしい。
- ・人権問題を身近に感じる事が少なく、やはり地域社会や企業においても人権に関する情報発信や教育を充実させ、人権問題に関する啓発活動を進めていくべきだと思います。
- ・子どもたちのやわらかい心の時代に、教育の場で人権問題を扱っていただきたいです。知らないことが一番不理解につながると思います。
- ・子供たちに教える大人への教育が必要だと思う。子供より大人の方が保守的だったり差別的だったりする・・・それを子供が見て育つので。
- ・60年前には、家庭でも祖父母と同居の子供達も多くあり、人の道（生き方）を祖父母や両親からくりかえし聞かされて育ちました。現在では核家族となり親も生活に追われて子どもたちへの指導が少なくなっていると感じます。学校で小学生の頃からして良い事、してはいけないこと、人権に関する事などの指導をする時間をもうけていただきたいと思います。
- ・全てにおいて本人（当事者）とのコミュニケーションが必要である。コミュニケーションによりお互いに理解し合える。当事者とのふれあい、話し合う場を多く設定すべきと思う。特に小学生、中学生への教育カリキュラムに組入れるべきでしょう。
- ・当事者でないとわからない苦しさ、痛みをどれだけ周囲の者が共有できるかが重要なのではないのでしょうか。他者の感情を共有できるスキルを習得する機会が与えられれば良いのにと思います。
- ・小学生などが出品する人権ポスターなどが、なるほどなと関心をよく持ちます。もっと人権ポスターを増やしてアピールしたりミヤザキ犬と言ったキャラクターを使用してPRをもっとしていったらより効果があると思います。
- ・今はテレビやラジオ、ポスターなど、十分な人権に対する理解はされていると思う。この活動を続けていってほしいと思います。
- ・何ごとも知ることから始まると思います。情報発信が大切だとは思いますが、受け取る側の人間は千差万別。人権問題は簡単ではないと思います。

13. 行政施策に関すること

- ・行政の職員全員に人権問題について学ぶ必要があり、県民の手本となるような行動を常にさせていただくことが必要。もっと弱者と言われる者の職を増やす必要もある。
- ・行政や専門機関などの充実や各問題に柔軟、適切に対象できる専門職などがあると良いと思います。実際に問題が生じたときにどこの誰に相談するのかなど明確な道筋も必要なかと思います。
- ・当事者の意見や希望などを聞き、理解できる相談員の育成が大事!!
- ・“相談窓口”の時間帯を長く取ってほしい。なかなか昼間に行けないと思います。人目もあるので。

14. 意識調査への意見・感想

- ・無作為に選ばれた3000人の中に入って、同和問題や人権について知る事ができた機会を与えられた事に何か意味があるのだと感じました。実際50年近く生きてきて、人権について考えた事があまりなかったので、今後の自分の人生にとって大切な学びとなれば良いと思った。
- ・人権問題に関心があるか、ごく僅かな人しか回答が得られないと思う。セミナーやイベントを催したとしても、その僅かな人しか参加せず、肝心な関心を示してほしい世代や関係者には伝わる事が少ないと思う。こういう調査が役立ってほしい。

15. その他

- ・他人の事を考えることの出来る心の余裕を持っていかなくてはいけない。今は自分の事だけで一杯のような気がします。他人の幸福を考えていけるような社会作りが大切ではないかと思います。常に人助け、人のためにつくす精神が大切と思います。